

苗の生育は概ね順調！ しかし、一部の苗では高温による障害や折衷苗代等が出芽不揃いな苗が見られています。
適切な温度・水管理を徹底し、充実の良い苗づくりを行いましょう！

山形の米日本一推進運動置賜地域本部

全般的に苗の生育は例年より進んでおり順調ですが、ハウス育苗では高温による障害、カビの発生、一方4/20頃に播種された折衷苗代では夜温が低かったため出芽の不揃いなどもみられます。4月27日から1か月の天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多い見込みです（東北管区气象台）。

下表を参考に、高温多湿状態にしないよう、積極的に換気を行い、充実のよい、がっちりとした苗づくりをしましょう！

本田の耕起作業は好天に恵まれ平年よりもやや進んでいます。ゆとりのある作業計画で、本年も農作業事故ゼロを目指しましょう。

苗代管理の注意点



水をかけすぎないように！！

【東北地方 1か月予報】

～ 温度が上がり過ぎないように注意 ～

<気温の予報>

5/3 ~ 5/9 : 平年並または高い確率40%

5/10 ~ 5/23 : 平年並の確率40%

1 温度管理の目安は以下のとおりです。

	昼 間	夜 間	水管理
1.5葉期以降	20～25	8 以上	午前中にたっぷり1回かん水する。夕方からのかん水は根張り不良となるため避けましょう。

2 田植え1週間前から荒天や遅霜の心配がない限り、夜間もハウスやトンネルを開け、苗を徐々に外気に慣らしましょう。

3 プール育苗では、1.5葉期頃から、ハウスを開放し湛水します（箱上1～2cm、低温時は、苗丈の半分位が目安）。また、水温に注意することを忘れず、管理しましょう。

育苗時における追肥の注意点



～ 肥料の特性をしっかりと把握すること ～

1 苗種別の追肥時期の目安は以下のとおりです。

	1.5～2.0葉	2.3～2.5葉	2.8～3.0葉
稚 苗 (田植え時の葉齢：2.2～2.5葉)		() 葉色を見て	-
中 苗 (田植え時の葉齢：3.2～3.5葉)		-	

2 床土に育苗一発肥料を使用した場合、追肥は省略できます。

3 追肥の量（100箱あたり）、使い方は次のとおりです。

【液肥2号（N:P:K=10%:4%:8%）】
1箱あたり追肥量（N成分：0.5g）
500ccを50の水に溶かして（100倍）、
全量を均一に施用します。

【硫安（N:P:K=21%:-:-）】

1箱あたり追肥量（N成分：1g）
500gを30の水に溶かして、施用します。
肥料焼けを防止するため、追肥後は
ただちに葉に水をかけて、苗に付いて
いる肥料を洗い流します。

4 プール育苗で液肥で追肥をする場合は、濃度障害を防ぐために1～2日後に排水します。

育苗期間中の病害対策



例年より早くカビの発生が見られています！！

- ～ 病原菌とその症状をよく把握すること ～
 主な病原菌の症状と、発生抑制のためのポイントは以下のとおりです。

病原菌	主な症状	主な原因	発生抑制のポイント等	
苗立枯病	リゾプス	種子、芽の周囲に白いカビが発生。根の褐変。葉の黄化。	出芽時の高温多湿。	33 以上の高温、多湿にしない。
	フザリウム	白色～淡紅色のカビが発生。	緑化期の低温。湿度の変動が大きい場合。	低温をさけ、適切な温度を保つ。
	ピシウム	カビは見えない。出芽後の芽、根の枯死やムレ苗が発生。		
	トリコデルマ	芽の周囲に淡緑色のカビが発生。	汚染度の高い資材を使用した場合。床土の乾燥。	過乾燥にならないよう注意する。
苗立枯細菌病	第2葉の葉身基部が黄白化、坪枯れ。	高温多湿。効果のない薬剤の選択。	高温多湿にしない。発生した場合は苗を処分する。(発生後、薬剤防除不可)	

土づくり・耕起のポイント



- ～ 積極的な土づくりで良食味生産を目指しましょう ～

- 1 土づくり肥料の中でも、特にケイ酸資材が気象の変化に負けない稲づくりに重要です。ケイ酸施用は、根の活力維持、登熟能力の向上、いもち病抵抗性の向上などの効果が期待できます。積極的に施用しましょう。(ケイカル120kg/10a)
- 2 近年、pHの低い水田土壌が見られます。適正なpHは5.5～6.5ですので、酸度矯正を行い、肥料養分の吸収阻害などを防ぎましょう。
- 3 養分の供給力増加や、登熟不良・品質低下軽減のために、耕土深15cmを目標に、耕起を行いましょう。

品種に応じた基肥量がポイント



- ～ 品種の特性にあった基肥量は、良食味米づくりに欠かせません ～

品種別の基肥量は以下のとおりです。

品種名	窒素成分量 (kg/10a)
はえぬき	5～6
コシヒカリ	3～4
つや姫	3～4
	地力の低い所では1kgを上限に増量
ひとめぼれ	4～5
あきたこまち	5～6
ヒメノモチ	5～6
酒米	4

【初期生育の確保が難しいほ場では・・・】

基肥量の一部を活着期追肥として実施する。目安は、2kg/10a。

トラクターの「ほ場からの退出は慎重に！」
 春の農作業安全運動展開中！

